



出展内容 「新時代下水道」

自然災害の頻発や新型コロナウイルスの影響により、新たな業務形態への変化が求められる中、多様化するニーズへの対応について話題提供させていただきます。



テーマ

「マネジメント業務のスマート化」

DX への変革が叫ばれる昨今、下水道事業運営には維持管理情報等を起点とした**新時代のマネジメント**の確立が求められています。そこで今回は、ICT/IoT、AI 等を活用した「ストックマネジメント支援ツール」、「MP のクラウド監視記録を活用した雨天時浸入水のスクリーニング」、「データ駆動型事業運営の展開」についてご紹介します。

「処理場リノベーション」

人口減少等に伴う水量・使用料収入の減少への対応や頻発する自然災害への備えなど、持続可能な下水道経営に向けて様々な取り組みが求められています。そこで今回は、「資源エネルギーの供給拠点化」「強靱化の推進（耐震・耐水化）」「次世代処理技術の開発」「ICT 活用」「上部・土地利用」の5つの視点から、**新時代の下水処理場のあり方**についてご紹介します。

「レッツ！雨天時浸入水対策」

雨天時浸入水対策への取り組みは、都市により課題も異なるため、そのニーズも多岐にわたります。そこで今回は、**新時代の調査・処理技術**として、低コストかつ迅速な絞り込み調査が可能な「雨天時浸入水スクリーニング」、スパン単位以下で浸入水発生箇所を検出する「ラインスクリーニング」、雨天時に増加する処理場流入水を処理する「AI 流量予測+大口径膜処理」についてご紹介します。

「これからの都市浸水対策」

地球温暖化に伴う気候変動の影響から、各地で大雨による甚大な災害が頻発しており、国では国土強靱化対策を推進しています。そこで今回は、短期間での整備が難しい都市浸水対策について、段階的な目標設定と対策優先順位を明確化させるとともに、これから注目されるグリーンインフラや避難計画等のソフト対策を取り入れた**新時代の浸水対策**についてご紹介します。

また今回、出展者プレゼンテーション（8月17日(火) 11:30～）において、『**デジタル視点（AI 等）の業務改革に向けた官民共同体における共同研究**』をテーマに、熊本市及び民間6社で実施している共同研究の概要についてご紹介します。

技術詳細はこちら：<https://www.n-suiko.co.jp/gesuidouten/>